

## ホワイトニング施術前注意事項とその同意書

### 健康上の注意事項

- 現在何らかの病気で治療中の方は、歯のホワイトニングが可能かどうか主治医に確認して下さい。また問診票にてご申告ください。
- お子様、妊娠中、授乳中、妊娠の可能性の高い方には奨励されていません。
- 重度の虫歯、歯周病、歯肉炎をお持ちの方には奨励されていません。
- 無カタラーゼ症、光線過敏症、重度知覚過敏、重度のテトラサイクリン歯、咬耗・摩耗・亀裂が多数存在する場合はホワイトニング処置は禁忌となります。
- 乳歯へのホワイトニングは原則行いません。(成人の方で乳歯が残存している方)
- 詰め物被せ物が多数ある場合はホワイトニング剤が効く部位が限られるため変色のリスクがあり原則おすすめはしていません。

### ホワイトニングの効果、予後について

- ホワイトニングの結果には個人差があります。
- ホワイトニングで白くした歯は永久的なものではありません。
- 灰色がかった色の歯は、明るい色調になりますが白い色調にはなりません。
- 被せ物や詰め物等の人工の歯は白くなりません。
- ホワイトニングの結果の永久的なものではなく、持続性は食生活習慣、日々の歯磨きの状態によって異なります。
- ホワイトニングの効果の持続期間は、変色の原因および生活習慣によって異なりますが、2～3ヶ月に1度のメンテナンスによってその白さを長く保つことができます。
- ブライダル、写真撮影などイベントのためのホワイトニングはご予約の2週間前までの施術完了をお勧めしております。

### ホワイトニングによって起きうる副作用について

- ホワイトニング後に歯ぐきが敏感になることや白くなることがありますが、ホワイトニングにおける通常保反応で、一時的なものです。
- すでに知覚過敏の傾向がある方、神経の太い方はホワイトニングを行うことで、しみる状態が悪化することがあります。その場合ホワイトニングを中止することがあります。
- ホワイトニングを行うと、歯に点状の白い部分が現れることがあります。これは歯に元々あるものがホワイトニングにより強調されたものです。通常数週間から数ヶ月経つと周囲となじんでいきます。
- ホワイトニングによって歯が白くなることにより元々入っていた詰め物被せ物がくすんで見えることがあります。やり直しを希望される場合はホワイトニングでトーンアップしきった後をお勧めしております。

#### ホワイトニング後の注意点について

□ホワイトニング後知覚過敏の症状が強く出る方が稀にいらっしゃいます。

これは薬剤による歯の表面が通常より乾燥したことにより起こる症状で、異常ではありません。1~2日でだんだん落ち着いてきますが、3日以上痛みが継続する場合は別の原因（虫歯や歯周病）も考えられますので、ご連絡ください。

□ホワイトニング後24時間は歯の表面が薬剤により乾燥していて色素を吸収しやすく、また酸に弱い状態です。酸性および着色性の飲料、食べ物をお控えいただくと歯に優しくまたホワイトニングの効果の持続がよりよくなります。

酸性の食品：柑橘系の果物、飲料、炭酸飲料、酢及び酢を使用した食べ物、ビタミンC、梅干し、スポーツドリンク、ヨーグルトなど

着色性の食品：コーヒー、紅茶、コーラ、ウーロン茶、赤ワイン、タバコ、葉巻、カレー、ベリー類、チョコレート、ケチャップ、醤油、ソース、トマトソース、などの色の濃い食品、色の濃いうがい薬など

上記の注意事項について説明を受け、同意いたします。

年 月 日

氏名